

世田谷区立千歳台小学校における川場村産木材利用について

1 主旨

世田谷区立千歳台小学校では、昭和59年に川場村立川場小学校と姉妹校として提携しており、現在も、全区立小学校5年生を対象に実施している川場移動教室のほかに、川場小学校からの来校による夏季交流や川場村でのスキー交流など両校による独自の取組みを行っている。また、川場村産木材を利用したログハウスが校舎内に常設されており、特色のある学校となっている。

令和5年度は、両校の交流40周年にあたるため、同年に予定している35人学級対応に伴うクラス増及び洋便器化トイレ改修などの内部改修工事に合わせ、川場村産木材の利用を行うとともに、今後の小学校改修時における川場村産木材利用の促進を図る。

2 千歳台小学校における川場村産木材利用

- ・特別支援教室または図書室の内装仕上げ材
- ・体育館棟のホールの内装仕上げ材（トイレ前壁）
- ・改修する教室等の室名板

3 他小学校における川場村産木材利用の促進

区立小学校5年生は、川場村の自然や文化に触れ、集団生活と様々な体験活動を通して、豊かな人間性を培うことを目的とした移動教室で、川場村を訪れている。川場村産木材を自校で利用し、見て触れることで、川場村をより身近な存在として認識し、移動教室にむけた事前学習への活用や、川場村との交流の深化につなげていくため、今後、小学校改修時における川場村産木材利用の促進を図っていく。

4 今後のスケジュール（予定）

令和5年	7月	内部改修工事	着工
	9月	内部改修工事	竣工
	11月	校長会への事例報告	